

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -4

4-
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	バリアフリー機能の導入
	節	. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	4 バリアフリー機能の導入		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～H31			
事業概要	【事業目的】 各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。			
	【事業内容】 説明媒体に点字や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 ガイダンス施設の実施設設計において、施設にバリアフリー機能を盛り込む。 メインガイダンス施設における情報提供・説明媒体への音声ソフト等の導入について、検討を行う。 資産の公開・整備内容の方針を定めた史跡整備基本計画を2ヵ年(平成29～30年度)で策定し、その中でバリアフリー機能の導入方法を検討する。			
	【29年度実績】 メインガイダンス施設の実施設設計に、多機能トイレや思いやり駐車場・施設へのスロープ設置といったバリアフリー機能を盛り込んだ。 史跡整備基本計画の中で、バリアフリー機能の導入を含めた見学コースについて検討を行った。			
課題・今後の取組	【課題】 史跡等の見学ルート上にある説明サインや佐渡市の公共施設等、バリアフリー機能の導入について、検討・協議が必要である。			
	【今後の取組】 史跡整備基本計画の策定に伴い、見学ルート等へのバリアフリー機能の導入について検討する。 ガイダンス施設内に設置を予定する各種サインについて、点字等の導入を行う。			
事業評価	【事業の達成度】 { a (b) c }		概ね計画どおりに事業が進んでいることから、B評価とした。	
	【事業実施の効果】 { a (b) c }			
	【総合評価】 { A (B) C }			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。